

平成 2 3 年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書
(平成 2 2 年度対象)

平成 2 3 年 1 1 月

人吉市教育委員会

目 次

〈 は じ め に 〉	1
人吉市教育委員会委員名簿（平成23年11月29日現在） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	
1 教育委員会の活動及び運営状況	2
(1) 教育委員会の概要	2
教育委員会の目的	2
人吉市教育委員会委員（平成22年度の教育委員）	2
(2) 教育委員会の主な活動内容	2
教育委員会の活動状況	2
教育委員会会議	3
① 会議の開催状況（平成22年度実績）	3
② 審議状況	3
教育委員の活動	3
① 教育委員の所管施設訪問状況	3～5
(3) 評価・課題	5
2 点検評価の目的	6
3 学識経験者の知見の活用	6
○ 学 識 経 験 者	6
4 点検評価の対象	7
○ 人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業	7
5 点検評価の結果	7
(1) 点検評価シートの見方	8～9
(2) 事業の評価基準	10
(3) 総合評価基準	10
(4) 点検評価シート	10
学校施設の耐震化事業	11～12
人吉市学習支援事業「夏休みこどもリテラシー（読み・書き・計算）教室」	13～14
特別支援教育支援員配置事業	15～16
学校給食センター調理業務委託事業	17～18
家庭教育学級	19～20
“いで湯と球磨焼酎・笑顔の里”第8回ひとよし春風マラソン大会	21～22
史跡人吉城跡保存整備事業	23～24
人吉城歴史館特別展	25～26
犬童球溪顕彰音楽祭	27～28
人吉球磨児童による童話発表大会	29～30
〈 教 育 方 針 〉	31

〈はじめに〉

人吉市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たすため、平成22年度事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表するものです。

人吉市教育委員会

人吉市教育委員会委員名簿

(平成23年11月29日現在)

委員長	山本 泰弘
委員（職務代理者）	馴田 順子
委員	宮山 惇
委員	末次 美代
委員（教育長）	堀 秀行

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 教育委員会の活動及び運営状況

(1) 教育委員会の概要

〈教育委員会の目的〉

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会の基本理念として、地方公共団体における教育行政は、教育基本法の主旨にのっとり、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならないとなっている。

本市においては、人吉市教育基本方針を大きな柱とし、人吉市教育目標を定め、さらに学校教育、社会教育、文化振興、スポーツ振興の観点から努力目標を掲げ、教育委員会委員を中心に高い使命感を持って、市民の意向を反映した責任ある教育行政が実現できるように努力している。

〈人吉市教育委員会委員（平成22年度の教育委員）〉

役職名	氏 名	就 任	任期満了
委員長	大園 武義	平成 17 年 7 月 1 日	平成 23 年 6 月 30 日
委員（職務代理者）	山本 泰弘	平成 10 年 4 月 10 日	平成 26 年 4 月 9 日
委員	馴田 順子	平成 21 年 1 月 1 日	平成 24 年 12 月 31 日
委員	宮山 惇	平成 21 年 10 月 1 日	平成 25 年 9 月 30 日
委員（教育長）	堀 秀行	平成 21 年 7 月 1 日	平成 25 年 6 月 30 日

(2) 教育委員会の主な活動内容

〈教育委員会の活動状況〉

教育委員会の活動としては、教育委員5名で、小学校7校、中学校3校、計10校の学校訪問を行い、教育現場の声を活かした教育行政を推進してきた。

また、本市が独自に取り組んでいる研修として、佐賀県神埼市教育委員会及び財団法人佐賀県女性と生涯学習財団（アバンセ）を視察研修させていただき、それぞれの取組をうかがい、本市教育委員会がこれから果たすべき役割等を再認識するとともに、教育委員として見識を深めることができた。

教育委員会の運営としては、教育委員会会議を年14回開催し、審議事項38件、報告・協議等77件について審議・協議を行い、今後取組むべき事業の方向性を決定した。

更に、「広報ひとよし」を利用し、定例の教育委員会会議等への傍聴の呼びかけを行い、開かれた教育委員会を目指している。

〈教育委員会会議〉

① 会議の開催状況（平成22年度実績）

会 議	開 催 数	傍聴者数
定例会	12回（月1回）	6人
臨時会	2回	0人

② 審議状況

（ア）付議案件数

議案	38件
報告・協議等	77件

（イ）会議に付された主な案件

- ・人事案件について
- ・教育委員会の点検及び評価について
- ・教育方針について
- ・後援願の承認について
- ・規則・要項の制定及び改正について
- ・奨学生の決定について
- ・一般会計予算及び特別会計予算について
- ・小学校教科用図書の選定について
- ・人吉っ子アドバイザーの委嘱について
- ・学校給食調理業務委託について
- ・財産の取得について

（ウ）協議事項

- ・教育委員会の運営状況について
- ・中津留美術館跡地について
- ・学校林の今後について
- ・夏期休業日の短縮について

〈教育委員の活動〉

① 教育委員の所管施設訪問状況

（ア）学校訪問

区 分	対 象	期 日	教育委員出席状況
小学校訪問	7校	平成22年6月～12月	延べ35人
中学校訪問	3校		延べ15人

(イ) 他の主な会議・行事等

会議・行事等	期日	教育委員出席状況
教職員辞令伝達式	平成22年4月1日	5名
小中学校入学式	平成22年4月	延べ8名
人吉城歴史館特別展	平成22年4月21日、11月15日	延べ6名
おどんな日本一全国少年剣道大会	平成22年5月1日、2日	4名
人吉市学校給食センター試食見学	平成22年5月6日	5名
第51回人吉市民早起きマラソン大会	平成22年5月10日、25日 6月2日、5日	延べ4名
全国都市教育長会議定期総会並びに研究大会三沢大会	平成22年5月12日～14日	1名
中学校体育大会（2校）	平成22年5月16日	2名
大畑小第三中学校合同運動会	平成22年5月16日	1名
犬童球溪顕彰音楽祭協議会	平成22年5月18日、6月30日 平成23年2月18日	延べ4名
県市町村教育委員会連絡協議会	平成22年5月25日	2名
人吉市人権教育推進連絡協議会総会・研修会	平成22年5月26日	1名
小学校運動会（2校）	平成22年5月30日	2名
人吉球磨学校給食会研修会	平成22年5月18日、6月30日	延べ3名
校区民体育祭（6校区）	平成22年6月6日、9月26日 10月17日、10月24日	延べ6名
人吉市学校給食センター運営委員会常任委員会	平成22年7月14日 平成23年3月15日	2名
人吉市学校給食センター運営委員会総会	平成22年7月14日 平成23年3月15日	2名
つくってあそぼ&忍たま乱太郎ファミリーショー	平成22年7月19日	1名
人吉球磨児童による童話発表大会	平成22年7月25日	1名
人吉球磨人権教育研究協議会研究大会	平成22年7月28日	1名
第23期アドベンチャースクール	平成22年8月19日	1名
小学校運動会（4校）	平成22年9月30日	5名
第24回県市町村教育長研修大会	平成22年10月7日	1名
人吉市学校給食センター運営委員会臨時総会	平成22年10月12日	1名
人吉球磨総合美展	平成22年10月23日	2名
おどんな日本一！人吉のど自慢大会	平成22年10月24日	1名
人吉文化祭	平成22年11月3日	1名
犬童球溪顕彰音楽祭	平成22年11月12日	3名
第57回人吉駅伝大会	平成22年12月11日	1名
成人式	平成23年1月3日	5名

先進地視察研修（佐賀県）	平成23年1月24日～25日	5名
郡市学校給食研究協議大会	平成23年2月4日	1名
県市町村教育委員大会	平成23年2月7日	5名
ひとよし春風マラソン	平成23年2月19日、20日	延べ2名
図書館まつり（読書感想画コンクール表彰式）	平成23年2月28日	1名
小中学校卒業式	平成23年3月	8名
郡市退職者辞令交付式	平成23年3月31日	2名

（3） 評価・課題

- ①今年度においても教育委員と市長とで懇談を持ち、教育委員会と市が目指す方向性を確認するとともに整合性を図り、総合計画の基本理念に沿った教育行政を展開した。
- ②教育委員会内の問題点や課題に対する認識を深めることを目的に、教育委員会会議以外に独自に議論や意見交換の場を持ち、課題解決に努めた。
- ③開かれた教育委員会を目指すために、今年度も点検・評価の中に教育委員自らの活動を盛り込むと共に、現状課題の検証を行った。
- ④開かれた教育委員会を目指し平成21年度から市広報により教育委員会会議の日程のお知らせを行い市民の傍聴を促したが、今年度も少数の傍聴者の来場しかみなかった。今後も事務局の業務を含む教育委員会の活動状況や情報の提供をこれまで以上に行っていくことが重要と考える。
- ⑤地元住民からの要望（陳情）を受け、休校中の大塚小学校を廃校し、社会教育施設（公民館）への移行を行った。

2 点検評価の目的

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成20年4月から施行されました。法改正の目的「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして「教育委員会の点検評価」が位置づけられています。

教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

3 学識経験者の知見の活用

点検評価の客観性を確保するために「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることとなっています。

委員会では、広い観点からの知見の活用を図るため、担当課が行った点検評価の結果について3名の学識経験者から様々なご意見、ご助言をいただき、そのご意見等を参考にしながら教育委員会の点検評価を行ったところです。

○ 学識経験者

田上 明仁（たがみ あきひと）氏 （有）青井運送 サガラテック（有） 代表取締役 市PTA連絡協議会顧問
黒木 明子（くろき あきこ）氏 元高等学校教諭
神瀬 文夫（こうのせ ふみお）氏 元教育次長

4 点検評価の対象

平成23年度に点検評価を行う事業は、平成22年度の人吉市教育基本方針に基づき教育委員会が実施した主要な10事業としました。

○ 人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業

課 名	点検及び評価を行う事業
教 育 総 務 課	学校施設の耐震化事業
学 校 教 育 課	人吉市学習支援事業 「夏休みこどもリテラシー（読み・書き・計算）教室」
	特別支援教育支援員配置事業
	学校給食センター調理業務委託事業
社 会 教 育 課	家庭教育学級
	“いで湯と球磨焼酎・笑顔の里” 第8回ひとよし春風マラソン大会
歴 史 遺 産 課	史跡人吉城跡保存整備事業
	人吉城歴史館特別展
市 民 文 化 課	犬童球溪顕彰音楽祭
	人吉球磨児童による童話発表大会

5 点検評価の結果

教育委員会においては、学識経験者の知見の活用を図りながら、平成22年度までの行政評価システムに沿って、4項目の観点から事業評価を行い、今後の方向性を示す点検評価を行いました。

(1)点検評価シートの見方

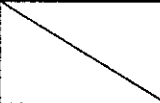
点検評価シート (評価対象:平成22年度事業)

1 事業名	教育委員会が行った事務事業名													
2 担当部課名	担当課名						担当者名			—				
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称 事業の目的に合致した第4次総合計画における政策名称				施策	コード	名称 事業の目的に合致した第4次総合計画における施策名称					
4 誰のために行うか〔受益者〕	誰のために行う事業なのか													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	事業の実施により誰を、どのような状態にしたいのか(意図・ねらい・コンセプト)													
6 事業の実施内容(平成22年度の進捗含む)	事業の全体概要と平成22年度の進捗状況													
7 平成22年度に実施した方向性からの改善	22年度事業実施における改善策													
8 類似・重複事業の有無	有・無	類似・重複と思われる事業名				類似・重複事業の有無及びそうと思われる事業名								
9 外部団体の活用	活用している・活用できない・活用できる(検討中も含める) 団体名													
	活用できない理由(担当課確認リストを含む)				当該事業を外部団体に活用しているか、活用できないか、活用できるものか、またその理由									
10 活動指標	指標名		単位		説明			目標値の設定内容						
	事業の実施内容を意識しながら、実施した事業量(活動量)を表す指標				指標の補足説明(指標の算出式等)			学校施設耐震化年次計画に基づき実施した棟数						
11 成果指標	事業を実施する事によって生じる市民の満足度を表す指標				同上			同上						
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H21年度(実績)		H22年度(実績)		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度	
		実績値			上に設定した指標の22年度の目標値と実績値		23年度以降の目標値については仮置きの数値であって正式な数値ではありません。							
		<達成度>	—		—		—		—		—		—	
		(2) 成果指標	目標値			上に設定した指標の目標値と実績値								
		実績値			実績値									
		<達成度>	<0%>		<0%>									
13 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	～													
	総事業費													
	千円													
	合 計		0千円		0千円		23年度以降の目標値については仮置きの数値であって正式な数値ではありません。		0千円		0千円		0千円	
	財源内訳	① 国庫補助金												
		② 県補助金												
③ 起 債														
④ その他														
⑤ 一般財源			0		0				0		0		0	
14 活動一単位当たりのコスト	—		—		—		—		—		—		—	

(1)点検評価シートの見方

平成23年度以降の改善等を踏まえた事業の内容 15	評価の結果において明らかになった問題点や改善する必要が認められた事項に対する今後の具体的な改善策等の案		
平成24年度以降の事業の方向性 16	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	評価の結果を踏まえて、平成24年度以降における当該事業の「方向性」及び「その方向性を選択した理由」
	②現状維持	☐	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
教育に関し学識経験を有する者の意見

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	教育委員会における事業評価と総合評価(評価基準についてはP10のとおり)					
教育委員会における意見						

(2) 事業の評価基準

	評 点				
	4	3	2	1	0
必 要 性	(事務事業に対する市民ニーズ・妥当性・緊急性について)				
	行政が関与する事業で妥当性も緊急性もある	行政が関与すべき事業で妥当性はあ るが緊急性はない	行政が関与すべき事業で妥当性はな いが緊急性はある	行政が関与すべき事業 だが妥当性も緊急性も あまりない	行政が関与する 必要はない
有 効 性	(上位施策の目的達成に対する事務事業の貢献度について)				
	高い	やや高い	やや低い	低い	
達 成 度	(成果及び事業の実績の目標に対する達成状況や満足度について)				
	指標が適切で目標どおり達成している	概ね達成している	あまり達成していない	目標、計画値の設定が曖昧。実績値を把握していない	
効 率 性	(費用対効果としてコスト改善について)				
	高い	やや高い	やや低い	低い	

(3) 総合評価基準

区 分	評価結果に基づく改善等の内容
A	計画どおりに事業を進める(拡充を含む)ことが適当(現状どおり管理・運営を進めることが適当)
B	事業の進め方の改善の検討(利用率向上等の改善の検討)
C	事業規模・内容または実施主体の見直しの検討(施設運営主体の見直しの検討)
D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討(休・廃止を含めた施設のあり方の検討)

(4) 点検評価シート (P 1 1 ~ P 3 0)

平成 2 3 年度点検評価シート

(1 0 事業)

点検評価シート (評価対象:平成22年度事業)

1 事業名	学校施設の耐震化事業										
2 担当部課名	教育部教育総務課					担当者名		—			
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称			
		6	快適で安全な市民生活の向上をめざして				17	安全で安心な生活環境の整備			
4 誰のために行うか〔受益者〕	市内各小中学校の児童・生徒、教職員及び学校施設を利用する一般市民										
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	大規模地震に耐え得る施設補強整備を施すことで、安全で安心な教育環境の整備と災害時の避難場所としての機能強化を図るもの。										
6 事業の実施内容 (平成22年度の進捗含む)	学校施設の耐震化については、平成17年度から平成25年度にかけての年次計画に基づき、優先度調査、二次診断、実施設計、補強工事の順に事業を進めている。平成20年度に二次診断を全て終え(繰越により平成21年度に完了)、平成21年度においては、平成22年度以降に実施予定であった小学校3校の補強実施設計(3校共に繰越により平成22年度に設計完了)、小学校1校、中学校1校の耐震補強及び大規模改修工事(中学校1校は繰越により平成22年度に工事施工)を実施した。平成22年度には、小学校2校の交付金を受け、耐震化及び大規模改修事業(工事施工は平成23年度)を実施。※13事業年次計画は予算ベース										
7 平成22年度に実施した方向性からの改善	国の経済危機対策に伴う臨時交付金等を活用し、年次計画スケジュールの見直しを行い、事業を前倒しし、耐震化事業全体の加速化を行った。										
8 類似・重複事業の有無	有・ ☒ 類似・重複と思われる事業名										
9 外部団体の活用	活用している・活用できない・活用できる(検討中も含める) 団体名										
	活用できない理由(担当課確認リストを含む) 児童・生徒・教員及び市民の安心、安全を保障する事業であるため、直接施工が適当である。										
10 活動指標	指標名		単位	説明		目標値の設定内容					
	耐震工事等実施棟数		棟	年次計画で各年度に実施すべき棟数		平成24年度までに完了するように計画した各年度の棟数					
11 成果指標	学校耐震化率		%	(耐震化済棟数+改修の必要が無い棟数)/全棟数		全棟数の内、耐震補強をした棟数(改修が必要ない棟数を含む)					
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H21年度(実績)	H22年度(実績)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度			
		実績値	5	4	1	—	—	—			
		<達成度>	<100.00%>	<100.00%>	—	—	—	—			
		(2) 成果指標	目標値	88	98	100	—	—	—		
			実績値	88	98	—	—	—	—		
			<達成度>	<100.00%>	<100.00%>	—	—	—	—		
13 事業年次計画	事業の期間	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	～	補強設計	18,018	補強工事	293,716	補強工事	153,661				
	総事業費	補強工事	164,102								
	千円										
	合計	182,120千円	293,716千円	153,661千円	0千円	0千円	0千円				
	財源内訳	① 国庫補助金	169,191	135,905	72,967						
		② 県補助金									
		③ 起債	6,500	118,350	60,520						
		④ その他									
		⑤ 一般財源	6,429	39,461	20,174	0	0	0			
14 活動一単位当たりのコスト	36,424.0千円		73,429.0千円								

平成23年度以降の改 15 善等を踏まえた事業の 内容	平成24年度の事業完了を目指すためにも、平成23年度中に国へ交付金の申請をし財源の確保を行い、耐震工事を行う学校や校区町内会に対し学校運営に支障が出ないよう、工程を含めた実施内容の説明を行いたい。		
16 平成24年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	学校施設の耐震化事業は、児童・生徒・教職員及び市民の安全を保障するため、平成17年度から実施してきたところであるが、その結果、年次計画のとおり順調に進捗しており、平成24年度の事業完了を目指し、平成23年度中に国の交付金等の財源の確保を確実に行うことが重要である。
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見	
・ 将来を担う子どもたちと災害時に避難する地域住民の命を守るために、少しでも不安のある建物は早急に補強すべきで、合わせて老朽化にともなう改修工事を実施された事は高く評価しています。今年発生した東北の大震災のような避難所生活が長期化する場合もあり、子どもたちや地域住民が安全で安心な、そして快適に生活できるように常に心がけるべきです。更なるスピードアップと改修をお願いします。 ・ 学校施設には常に多くの人間が集合しているので、耐震化事業は最優先すべき課題です。平成24年度には計画されている耐震化工事は終了の予定ですので是非実行していただきたい。しかし、施設の細部(校舎内の備品、物品等)についての対策、対応は現場におられる先生方にも気を配っていただき、安全な学校生活を保つための努力をしていただきたい。 ・ 当初予定した計画よりも早く耐震化が出来るようであり、児童生徒をもつ親としても今後安心して学校に送り出すことができるのではないかと感じた。また、災害の場合の避難場所として、地域住民の方々も安心して避難できる状況となったと思う。今後においては、老朽化した施設の整備に努めてほしい。	

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	3	A	
この事業については、国の予算の絡みもあるが、概ね計画的に行われており、耐震化率100パーセントを達成するために今後も是非継続していく必要がある。						

点検評価シート (評価対象:平成22年度事業)

1 事業名	人吉市学習支援事業「夏休みこどもリテラシー(読み・書き・計算)教室」																		
2 担当部課名	教育部学校教育課						担当者名		—										
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称										
		4	ふるさとを支える豊かな人づくりをめざして					12	生きる力を育む学校教育の推進										
4 誰のために行うか〔受益者〕	市内小学校3年生																		
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	3年生までの読み・書き・計算の基礎学力が身につけていないと、特に難易度が高まる4年生以降の勉強についていけなくなることから、その基礎学力の定着と向上を図る。																		
事業の実施内容 6 (平成22年度の進捗含む)	教職員経験者が学習サポーター(講師)として、また、高校生が学習サポーター補助(講師補助)として、市内の小学校3年生の希望者162名を対象に実施した。1年から3年の1学期までに学習した範囲を復習するかたちで、読み・書き・計算の問題集を解かせて指導を行った。期間は夏休みの8日間で、1日につき2時間の学習を行った。																		
7 平成22年度に実施した方向性からの改善	これまでの問題集は、過去に市教育委員会にて作成したものを使用していたが、現在の授業の復習問題としてなじまないとこともあり、今回は、複製可能な市販の問題集を活用した。																		
8 類似・重複事業の有無	有 ☒ 無 ☐		類似・重複と思われる事業名																
9 外部団体の活用	活用している・活用できない・活用できる(検討中も含める)						団体名		退職校長会										
	活用できない理由 (担当課確認リストを含む)																		
10 活動指標	指標名		単位		説明		目標値の設定内容												
	学習日数		日		計画された開催日数		参加者全員の出席すべき総日数												
11 成果指標	参加子ども満足度		%		参加した子どもアンケートによる満足度		85%												
12 指標値	(1) 活動指標	目標値		H21年度(実績)		H22年度(実績)		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度					
		実績値		1,557		1,296		0											
		<達成度>		<89.66%>		<92.13%>													
	(2) 成果指標	目標値		100		85													
		実績値		93		80													
		<達成度>		<93.00%>		<94.59%>													
13 事業年次計画	事業の期間		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費		
	～		報償費等		326		報償費等		383		報償費等		534		保険料		20		
	総事業費																		
	千円																		
	合 計		326千円		383千円		534千円		20千円		20千円		20千円						
	財源内訳	① 国庫補助金																	
		② 県補助金																	
		③ 起 債																	
		④ その他																	
		⑤ 一般財源		326		383		534		20		20		20					
14 活動一単位当たりのコスト			0.2千円		0.3千円														

平成23年度以降の改 15 善等を踏まえた事業の 内容	学習サポーター及び学習サポーター補助の充実をはかり、それぞれの子ども状況に即したきめ細かい指導を行っていく。そして、「実施期間」「対象学年」の拡大を求める強い要望に沿って、放課後に、対象学年を4・5・6年生を対象として「放課後パワーアップ教室」を実施していく。「夏休みリテラシー教室」を「夏休みパワーアップ教室」と改名し取り組んでいく。		
16 平成24年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☒	読み・書き・計算の基礎学力を定着させる絶好の機会である。 また、平成21年度から対象を市内全小学校児童に拡大して実施しており、この事業に対して、児童・保護者・現場教師から高い評価を得ているため、引き続き実施していく。そして、「放課後パワーアップ教室」と一体となって取り組んで行く。
	②現状維持	☐	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
・ 今後においてもこの事業は継続していただきたい、たいへんありがたい事業で講師の方々に対し感謝いたします。今後余裕が出来れば4年生も行っていたきたい。 ・ 教材については、人吉市の教育研究所において作成した教材の活用(地域にあった教材の活用)についても検討していただきたい。 ・ この事業は子どもに、より確かな学力を身に付けることに大きな手助けになることでしょう。そして学校とは違う先生との出会いで、何かに興味を持つきっかけとなったり、学校とは異なった環境で学ぶという事など、子どもたちにとって色々な機会を与えることでしょう。 ・ 学力不足の子どもたちが進んでこの教室に参加してくれるような手立てを考える事が必要と考えます。 ・ 子どもたちの読み・書き・計算の基礎学力の定着のためのこの事業は、保護者として是非続けてほしい事業です。退職校長会をはじめ、学習サポーターの皆様と学校教育課の皆さんの連携にかかっていると思います。今後は予算の問題も出てくるでしょうから人吉市の教育研究所の教材やICT事業との連携や利用を考えて更に素晴らしい事業にしてほしい。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	3	A	
子どもたちの「読み・書き・計算」の基礎学力の定着のためには必要な事業である。学力不足の子どもたちが進んで参加してくれるような工夫や問題集の作成を今後心がけていく必要がある。						

点検評価シート（評価対象：平成22年度事業）

1 事業名	特別支援教育支援員配置事業													
2 担当部課名	教育部学校教育課						担当者名		—					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称					
		4	ふるさとを支える豊かな人づくりをめざして					12	生きる力を育む学校教育の推進					
4 誰のために行うか〔受益者〕	小・中学校の児童・生徒及び教職員													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	発達障害等の様々な障害のある児童・生徒を適切に支援するために、特別支援教育支援員を学校に配置することにより、特別支援教育の充実を図りたい。その結果、学級担任の負担軽減に伴い他の児童へも配慮した安定した学級経営をめざしたい。													
6 事業の実施内容（平成23年度の進捗含む）	特別支援教育支援員は、学校長の指揮監督の下に担当教諭と協力し、発達障害等の児童・生徒に対して、学校生活上の介助・学習指導上の支援等を行う。また、対象となる児童は年々増加傾向にある現状から、特別支援教育支援員を5名増員し、人吉東小学校に4人、人吉西小学校に3人、東間小学校に1人、大畑小学校1人、西瀬小学校に3人、中原小学校に2人、第二中学校に1人の計15人を配置することにより、きめ細かな支援が可能となった。勤務条件は年220日以内、週5日以内の29時間以内で従事する。													
7 平成22年度に実施した方向性からの改善	特別支援教育支援員としての資質の向上を図るために、講演会等の研修会を実施するとともに、回数も増やした。													
8 類似・重複事業の有無	有 ☒ 無 ☐		類似・重複と思われる事業名											
9 外部団体の活用	活用している・活用できない ☒ 活用できる（検討中も含める）						団体名							
	活用できない理由（担当課確認リストを含む）						公平・公正・守秘義務が保証されない。							
10 活動指標	指標名		単位		説明				目標値の設定内容					
	特別支援教育支援勤務日数		日		特別支援教育支援員の必要度を測定				勤務日数上限220日とした					
11 成果指標														
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H21年度(実績)		H22年度(実績)		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度	
		実績値	2,200		3,300		3,520		3,520		3,300		3,300	
		<達成度>	2,164		3,259		—		—		—		—	
	(2) 成果指標	目標値	<98.36%>		<98.76%>		—		—		—		—	
		実績値					—		—		—		—	
		<達成度>	<0%>		<0%>		—		—		—		—	
13 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	～		報酬	12,984	報酬	19,554	報酬	21,120	報酬	21,120	報酬	19,800	報酬	19,800
	総事業費		社会保険料	1,766	社会保険料	2,796	社会保険料	3,121	社会保険料	3,121	社会保険料	2,796	社会保険料	2,796
	千円													
	合 計		14,750千円		22,350千円		24,241千円		24,241千円		22,596千円		22,596千円	
	財源内訳	① 国庫補助金												
		② 県補助金												
		③ 起 債												
		④ その他												
		⑤ 一般財源	14,750		22,350		24,241		24,241		22,596		22,596	
14 活動一単位当たりのコスト			6.8千円		6.9千円									

15 平成23年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	特別な支援を必要とする児童・生徒への支援を更に充実させるため、支援員を1名増員するとともに、児童・生徒の個に応じた対応ができるよう、特別支援教育支援員の資質を更に向上させるため研修会の内容を検討する。		
16 平成24年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	発達障害等を持つ児童・生徒が年々増加の傾向にあることから、個に応じた特別支援教育の重要性と現場教諭や保護者から特別支援教育支援員の増員配置の期待が大きくなっている。但し、事業予算が全額市費であることから、市財政事情を考慮する必要性があり、現状維持が望ましい。
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見	
・ 特別支援教育支援員を5名増員され、発達障害のある子どもたちが年々増えていることと、障害の内容も様々であるのに、きめ細かな支援ができており、素晴らしい事業で、更に充実を求めます。 ・ 世の中が複雑化してくるに従い、発達障害等と表現される子どもが多くなっている感があります。それだけに「生きる力を育む学校教育の推進」の施策が大切になってきています。特に重度の肢体不自由・知的障害がない場合は、親は普通学級で学校生活を送らせたい気持ちは強いでしょう。学級に支援してくれる先生がいて教師も児童生徒自身も安定した授業が出来、そしてお互いに学び合い、複雑な大人社会に適応できる人として成長していく糧にしてほしいと願います。 ・ 発達障害の児童・生徒が年々増加している状況下において適正修学の指導を行う必要があると思われます。(特に小学校への新入児について) ・ 財政的に厳しい面もあるとは思いますが、今後発達障害の児童・生徒の増加に伴い支援員の増に努めていただきたい。(支援員配置の基準を決める等)	

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	3	A	

近年、発達障害は多様化しており、個々にあった支援も様々である。それ故にこの事業は必要不可欠の事業であり、大事にしていかなければならない事業であるとする。今後は、教育委員会だけではなく関係機関と連携し、継続的な取組を行っていく必要がある。

点検評価シート (評価対象:平成22年度事業)

1 事業名	学校給食センター調理業務委託事業													
2 担当部課名	教育部学校教育課						担当者名		—					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称					
		4	ふるさとを支える豊かな人づくりをめざして					12	生きる力を育む学校教育の推進					
4 誰のために行うか〔受益者〕	市内小中学校児童・生徒、保護者及び学校職員。													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	委託により将来にわたって継続して安定した学校給食運営を行えることや、民間のノウハウと活力により、業務の効率化と経費削減の効果が期待できることなどから調理業務の民間委託を実施していくものである。民間が受託することにより給食調理に責任を持たせたり、調理のスキルアップをしたり、受益者に対して安全・安心で確実な給食の提供を行う。													
6 事業の実施内容 (平成22年度の進捗含む)	学校給食センター調理業務を委託した結果、委託業務内容で、食材の発注についての、トラブルはなかった。調理業務についても、食材の検収から食品の保管、下処理、調理、配付、食器洗浄など、『学校給食衛生管理基準(マニュアル)』を遵守して、給食の質を落とすことなく安全・安心な給食を提供した。また、給食月間や食育月間に学校を訪問し学校との交流も盛んに行った。家庭に対しては、年に2回『親子料理教室』を開催した結果、親子料理教室の参加者から、好評を得た。													
7 平成22年度に実施した方向性からの改善	調理業務委託事業の主な業務内容を検証し、平成23年度からの調理業務委託事業に活用した。													
8 類似・重複事業の有無	有 ☒ 無 ☐		類似・重複と思われる事業名											
9 外部団体の活用	活用している ☒ 活用できない・活用できる(検討中も含める) ☐ 団体名 株式会社 人吉学校フーズ													
	活用できない理由 (担当課確認リストを含む)													
10 活動指標	指標名		単位		説明			目標値の設定内容						
	学校給食提供回数		回		平成22年度学校給食提供回数			休業日(授業を行わない日)を除く給食提供予定回数						
11 成果指標	食中毒等事故発生回数		回		安全性の目安を表す指標として設定した回数			食中毒等事故発生回数が0回とする						
	H21年度(実績)		H22年度(実績)		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度			
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	197		199		198							
		実績値	199		199		—		—		—			
		達成度	<101.02%		<100.00%		—		—		—			
	(2) 成果指標	目標値	0		0									
		実績値	0		0		—		—		—			
		達成度	<100.00%		<100.00%		—		—		—			
13 事業年次計画	事業の期間		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費	
	19 ~ 無し		調理業務委託		63,460		調理業務委託		63,460		調理業務委託		60,000	
	総事業費													
	千円													
	合 計		63,460千円		63,460千円		60,000千円		60,000千円		60,000千円		60,000千円	
	財源内訳	① 国庫補助金												
		② 県補助金												
		③ 起 債												
		④ その他												
		⑤ 一般財源	63,460		63,460		60,000		60,000		60,000		60,000	
14 活動一単位当たりのコスト	318.9千円		318.9千円											

15 平成23年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	過去4年間の経験から、平成23年度からは光熱水費を歳入として受入れるなど、行政と委託業者の関係性を明確にしたい。 また、これまでは、委託業者が給食用食品の発注業務を行っていたが、透明性を図るため平成23年度からは事務局において実施していきたい。		
16 平成24年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	調理業務を委託後も、安心・安全な給食提供が実施できている。 また、リクエストメニューや料理長おすすめメニューを取り入れるなど、児童・生徒が給食に関心を持てるような工夫と、衛生管理についての勉強会などを行い能力向上を図っていききたい。
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
- ふるさとを支える豊かな人づくりをめざす政策体系の中で、それらが出来ている事業だと思います。また、学校給食センターと調理業務委託業者、地元の農家や業者等とうまく連携がとれていて、安全、安心で確実な給食の提供が行われています。今後もメニュー等増やして、地元の食材を多く取り入れたおいしい給食の提供をお願いします。 - 保護者としては毎日の給食が安心、安全であることを一番に願っています。常に安全な食材、調味料等が使用された給食であり続けることを願います。 - 児童・生徒に喜ばれる献立と食材と調理技術がおいしい給食になると思います。おいしく作る努力も怠らないでほしいと思います。 - 今後においても食材の使用については地産地消に努めていただきたい。またこの地域だけしかないような伝統料理についても献立に入れていただきたい。 - 給食業務委託会社の責任者が春休み・夏休みの期間中にコミセン等で料理教室を開かれている事はたいへん良いことだと思います。 - 今後、給食業務と配送業務を一つの会社に委託できないか調査研究をしていただきたい。(効率的な委託が出来るのでは)

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	
委託業者においては、責任感とやる気を持って調理業務に取り組んでもらっている。保護者が心配している安心・安全な給食の提供は、これからも引き続き力をいれ、更に郷土色豊かなメニューの提供を考えていく必要がある。						

点検評価シート (評価対象:平成22年度事業)

1 事業名	家庭教育学級													
2 担当部課名	教育部社会教育課						担当者名		—					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称					
		4	ふるさとを支える豊かな人づくりをめざして					11	豊かで、活力ある地域社会を支える生涯学習の推進					
4 誰のために行うか〔受益者〕	園児・児童・生徒とその保護者													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	家庭は教育の原点であり、基本的な生活習慣や善悪など社会ルールやマナーを育む場として親の役割、子育てについての学習機会の提供や啓発活動を推進し、家庭教育力の向上を図る。													
6 事業の実施内容 (平成22年度の進捗含む)	家庭教育学級の指定校を新たに2校増設し、全13校を指定することにより、学習機会を拡大し、家庭教育力向上に努めた。指定校事業…保育園・幼稚園から6園、小学校から4校、中学校から3校、計13校指定、講演会等を中心とした家庭教育学級を実施。(中央幼稚園2回、あいだ保育園1回、おこば保育園2回、中原保育園1回、林保育園2回、人吉乳児園2回、人吉西小学校2回、東間小学校1回、西瀬小学校2回、中原小2回、第一中学校2回、第二中学校1回、第三中学校1回実施。) 中央公民館事業…市内全域の保護者を対象として社会教育委員会との共催で家庭教育講演会を2回実施。また、親子を対象とした親子切り絵教室1回実施。													
7 平成22年度に実施した方向性からの改善	家庭教育学級指定校を平成21年度よりも2校増設し、学習機会の拡大が図られ、家庭教育力の向上につなげることができた。													
8 類似・重複事業の有無	有 ☒		類似・重複と思われる事業名											
9 外部団体の活用	活用している ☒ 活用できない・活用できる(検討中も含める)						団体名		人吉市PTA連絡協議会					
	活用できない理由 (担当課確認リストを含む)													
10 活動指標	指標名		単位		説明			目標値の設定内容						
	講演会等受講者数		人		講演会等への延べ受講者数			講演会等、延べ2,000人以上の受講者数						
11 成果指標	受講者の満足度(大変よい・よい)		%		受講者へのアンケート調査実施			受講者の90%						
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H21年度(実績)		H22年度(実績)		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度	
		実績値	2,000		2,000		4,000		4,000		4,100		4,100	
		<達成度>	2,978		4,032		—		—		—		—	
	(2) 成果指標	目標値	<148.90%>		<201.60%>		—		—		—		—	
		実績値	90		90		90		90		90		90	
		<達成度>	94		94		—		—		—		—	
13 事業年次計画	事業の期間		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費	
	～				528				522				652	
	総事業費													
	千円													
	合 計		528千円		522千円		652千円		718千円		772千円		832千円	
	財源内訳	① 国庫補助金												
		② 県補助金												
		③ 起 債												
		④ その他												
		⑤ 一般財源	528		522		652		718		772		832	
14 活動一単位当たりのコスト			0.2千円		0.1千円									

15 平成23年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	前年度より家庭教育学級の指定校を増設し、さらに社会教育委員会との共催による家庭教育講演会等を行なったことにより、平成22年度の受講者数は大幅に増大したが、全体的に受講者の固定化が見られ、本質的に家庭教育の必要性がある親や父親の参加がなかなか得られていない状況である。いかにして家庭教育学級の場に多くの親を導くかが大きな課題となっており、そのためには学習内容や参加しやすい時間帯、条件等、保護者のニーズと社会的課題を今後も十分検討していく必要がある。		
16 平成24年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☒	家庭は教育の原点であり、基本的な生活習慣や善悪の判断など、社会のルールやマナーを育み、家庭の役割と責任を明確にすること等を学ぶ場として、家庭教育学級指定校を毎年、2校ずつ増設していく。また、社会教育委員会との共催で家庭教育講演会を開催し、さらに校区公民館事業においても家庭教育講演会や親子ふれあい事業を展開することにより、これまで以上の学習機会の拡充を図り、家庭・学校・地域社会・関係機関・行政が連携をした家庭教育力の向上を目指す。
	②現状維持	☐	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見

- ・ 教育基本法第10条にあるように、家庭教育が重要で、子の教育についての第一義的責任は保護者にあるが、その保護者に対する学習の機会及び情報の提供の場をつくるすばらしい事業だと思います。参加者集めに苦労されると思いますが、地道な活動が重要であると思いますので、今後も続けてください。
- ・ 家庭の有様は子どもに深く影響してきます。子育て中の両親にも講演等で学ぶ機会があれば参加して豊かな親子関係を築いてほしいものです。特に父親の参加が少ない状況のようです。現状は就業時間が厳しく、なかなか時間がとれないので地域の企業・職場にも父親の参加できる体制をつくってもらえるよう要請し協力してもらいたいと思います。
- ・ 家庭教育学級は各保育園・幼稚園・小中学校に応じた講演等をして行くのがベターだと思います。いずれの講演会にしても内容はたいへん良いと思いますが、人員の確保が重要な課題だと思います。今後いかにしたら多くの人を集める事が出来るかが課題だと思います。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	4	A	

毎年継続的に行われている事業であるが、参加者は限られているように見受けられる。本来家庭教育を必要とする方の参加を促すために、今後は内容・場所・時間等の工夫をしていく必要がある。

点検評価シート (評価対象:平成22年度事業)

1 事業名	“いで湯と球磨焼酎・笑顔の里”第8回ひとよし春風マラソン大会													
2 担当部課名	教育部社会教育課						担当者名		—					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称					
		2	交流が都市の元気を生み出すまちづくり					4	スポーツ交流都市づくり					
4 誰のために行うか〔受益者〕	マラソン大会参加者													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	観光キャンペーン「人吉球磨は、ひなまつり」で賑わう中心市街地や、人吉城跡、清流球磨川を眺めながら走るコースを設定し大会を開催。市民はもとより市外・県外からの参加者に本市の魅力を感じていただき、スポーツ振興をはかるとともに、地域の活性化にもつなげる。													
6 事業の実施内容 (平成22年度の進捗含む)	平成22年度においては、ふるさと歴史の広場を会場に、(株)ワコール女子陸上競技部の選手2名を招待し第8回大会を開催。参加者増加を目指して、宣伝隊の派遣(ポスター掲示及びチラシ配置依頼)やテレビ・ラジオなどの媒体を活用した誘致宣伝事業を行った。その結果、申込者数が前大会より約700名増え過去最多の3,968名であった。参加者全員に振舞われる郷土料理「つぼん汁」、薪で蒸す赤飯、ぜんざいは例年好評であり、球磨都市の温泉施設の協賛により実施した温泉無料開放には2,348名の利用があった。													
7 平成22年度に実施した方向性からの改善	よりよい大会運営のため、各関係団体や実行委員会内部の連携をさらに深めるとともに、計画的な事務事業の実施により円滑な運営を行うことができた。													
8 類似・重複事業の有無	有 ☒ 無 ☐ 類似・重複と思われる事業名													
9 外部団体の活用	活用している						活用できない・活用できる(検討中も含める)		団体名		人吉市体育協会ほか多数			
	活用できない理由 (担当課確認リストを含む)													
10 活動指標	指標名		単位		説明		目標値の設定内容							
	マラソン大会PR場所数		箇所		PRを実施した場所数		前大会時実績の5%増							
11 成果指標	マラソン大会エントリー数		人		申込エントリー者数		平成22年度まで=前大会実績の5%増、それ以降=現状維持以上							
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H21年度(実績)		H22年度(実績)		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度	
		実績値	124		195		284		284		284		284	
		<達成度>	185		270		—		—		—		—	
	(2) 成果指標	目標値	3,043		3,432		4,000		4,000		4,000		4,000	
		実績値	3,268		3,968		—		—		—		—	
		<達成度>	<149.19%>		<138.46%>		—		—		—		—	
13 事業年次計画	事業の期間		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費	
	20 ~ 24		補助金		4,500		補助金		4,500		補助金		4,500	
	総事業費													
	千円													
	合 計		4,500千円		4,500千円		4,500千円		4,500千円		4,500千円		4,500千円	
	財源内訳	① 国庫補助金												
		② 県補助金												
		③ 起 債												
		④ その他												
		⑤ 一般財源	4,500		4,500		4,500		4,500		4,500		4,500	
14 活動一単位当たりのコスト	24.3千円		16.7千円											

15 平成23年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	テレビ・ラジオなど各種媒体を有効活用した効果的な情報発信及び誘致宣伝活動を展開し、多くの参加者を募る。また、参加者の満足度向上のため、より一層のおもてなし向上に努め、リピート率の高い大会を目指していく。さらに、組織においては、市全体の取り組みとして体制の充実、連携を図る。		
16 平成24年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☒	第8回大会参加者の約62%が人吉球磨管外で、約34%が県外参加者である。市民の健康づくりや陸上競技の振興はもとより、地域活性化や経済波及効果も期待できる事業になってきていることから、今後さらに本市ならではの魅力を活かした大会として受入体制の充実に努め、参加者増加をはかっていく。 熊本市の政令指定都市移行を記念した第1回熊本城マラソンが、本市第9回大会と同日開催であり、一定の影響が懸念されている。今後の熊本市の大会開催予定は不明であるが、本市としては、独自性をさらに活かした大会として差別化をはかるとともに、内容の充実に努めていく。
	②現状維持	☐	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見

- ・ 人吉をPRでき、スポーツの振興をはかり、地域の活性化にもつながり大成功の事業だと思います。今後はボランティアの参加(市職員のボランティア)をもっと多くしていただき、市民全体でもっと盛り上がる大会にしてください。
- ・ 数千人の方が無事に走り終えて帰途につかれるまでには万全の対策を整えなくてはならないので大変なことでしょう。たくさんの方々のボランティアのもとでこのマラソン大会も成り立っていると思います。マラソンに参加された方がリピーターとなって人吉への観光客が増え、地域の活性化に繋がることを願っています。
- ・ 市外から参加される方々のためにも駐車場の案内を早い時期にホームページに載せたら良いのではないのでしょうか。また、案内板の設置等も考えていただけたらと思う。
- ・ 2回3回と参加される方に対する案内状の発送の方法を工夫してほしい。
- ・ 大会の運営は好評である(特におもてなしの豚汁・ぜんざい等)のでこのままの状態が続けて行ってほしい。
- ・ 開会式、受付、抽選会を大会の前日に行う事は出来ないのでしょうか。検討をしていただきたい。(当日の受付が混雑し大変だと感じる)
- ・ 選手名が記載された小旗を持ち名前を呼んで応援できるので、是非続けてほしい。(他所ではない応援の仕方だと思う)

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	

地域の活性化、経済の波及効果も期待できる大きな事業である。前回参加者への案内状の送付等、地道な努力を重ねながら、ふるさとの魅力と人吉にしか出来ない「おもてなしの心」の充実に努め、他所にない個性を活かした大会を目指す必要がある。

点検評価シート （評価対象：平成22年度事業）

1 事業名	史跡人吉城跡保存整備事業																									
2 担当部課名	教育部歴史遺産課					担当者名		—																		
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称																		
		1	ふるさとへの誇りと愛情に支えられたまちづくり				3	ふるさと文化の継承と創造																		
4 誰のために行うか〔受益者〕	市民及び史跡来訪者																									
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	史跡来訪者には史跡としての人吉城を体感してもらい、市民にとっては心の拠り所となり、さらに市民が積極的に活用できる史跡づくりを目指す																									
事業の実施内容 6（平成22年度の進捗含む）	昭和38年の国史跡指定以降、国・県の助成を得て保存修理事業を進め、昭和59年度の「史跡人吉城跡保存管理計画書」策定以降は、それに従って西外曲輪部での発掘調査及び整備を実施し、また、渋谷家・間米蔵跡・多門櫓・角櫓・長堀の復元や、角櫓前広場・園路の整備等を実施した。平成15年度からは「史跡等総合整備活用推進事業」としてガイダンス施設の建設、地下室遺構、大井戸遺構、水ノ手門跡、組合門の復元等を実施し、ふるさと歴史の広場西外輪北側の整備を完了した。平成19年度には、整備事業のまとめとして「整備報告書」を作成し、20年度には球磨川沿い防護柵設置工事、また21年度には御館跡と周辺園路の整備、大手門跡発掘調査を実施。22年度は21年度から策定を行ってきた、史跡人吉城跡保存管理計画書第2版の策定を完了、今後は計画書に基づきながら事業を実施していく。また21年度から継続の園路整備工事実施測量設計業務、及び上原城跡部分の発掘調査を実施した。																									
7 平成22年度に実施した方向性からの改善	平成22年度までは、「計画書策定を見据えた計画的な事業展開」を実施してきたが、今後は平成22年度策定の「保存管理計画書第2版」に基づき実施計画の立案を行なっていく。																									
8 類似・重複事業の有無	有・無		類似・重複と思われる事業名																							
9 外部団体の活用	活用している・活用できない・活用できる（検討中も含める）						団体名		平成100人委員会・観光案内人協会																	
	活用できない理由 （担当課確認リストを含む）																									
10 活動指標	指標名		単位		説明		目標値の設定内容																			
	整備進捗率		千円		18年度までの1,121,586千円を基準として年度毎の実績額を加算		総事業費1,500,000千円																			
11 成果指標	整備達成率		千円		年度毎の当初予算を100%として		各年度当初予算額（千円）																			
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H21年度(実績)		H22年度(実績)		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度													
		実績値	1,500,000		1,500,000		1,500,000		1,500,000		1,500,000		1,500,000													
		<達成度>	1,199,946		1,214,277		—		—		—		—													
		目標値	36,525		14,305		18,671		9,038		70,149		34,712													
		実績値	38,824		14,331		—		—		—		—													
		<達成度>	<80.00%>		<80.95%>		—		—		—		—													
13 事業年次計画	(2) 成果指標	目標値	H21年度(実績)		H22年度(実績)		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度													
		実績値	36,525		14,305		18,671		9,038		70,149		34,712													
		<達成度>	38,824		14,331		—		—		—		—													
		目標値	<106.29%>		<100.18%>		—		—		—		—													
		実績値	38,824		14,331		—		—		—		—													
		<達成度>	<106.29%>		<100.18%>		—		—		—		—													
		事業の期間	事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費									
		～	発掘調査		4,436		発掘調査		7,232		整備関連		18,671		整備関連		9,038		整備関連		70,149		整備関連		34,712	
		総事業費	整備工事他		31,761		整備関連		3,294																	
		千円	保存管理		2,627		保存管理		3,805																	
合計	38,824千円		14,331千円		18,671千円		9,038千円		70,149千円		34,712千円															
財源内訳	① 国庫補助金	18,150		6,567		9,335		4,518		35,074		17,356														
	② 県補助金	1,050		0		0		0		3,507		1,735														
	③ 起債																									
	④ その他																									
	⑤ 一般財源	19,624		7,764		9,336		4,520		31,568		15,621														
14 活動一単位当たりのコスト	0.0千円		0.0千円																							

15 平成23年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	今後も修理修復・整備を主として緊急性・必要性の高い事業が複数待機している状況。継続して鋭意事業を展開していく。		
16 平成24年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	史跡人吉城に関連する事業としては、これまでも昭和36年の国指定時から、継続して緊急性・優位性の高い事業を実施してきており、今後も引き続き事業を展開していくことが望ましい。
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見

- ・ 史跡人吉城は人吉・球磨の歴史と市民への啓発の場であり続けてほしい事業です。特に年とともに古びていく史跡の保存維持管理には地道な努力が必要とされます。人吉城及びその周辺が安全に気軽に散策できて歴史に触れることができる事を願っています。
- ・ 一つ一つ着実に出来ていると思いますが、最終的に人吉城跡がねらいのように、来訪者には人吉城を体感してもらい、市民にとっては心の拠り所となり、積極的に活用できる史跡とはどのようなものなのか、いつできるのか、イメージ図や工程表があればもっと理解できると思います。是非、人吉城跡の将来の姿、イメージ図を作成してもらいたい。
- ・ 市道側の石垣のふくらみが目立ってきたように思いますので早急に対策をしていただきたい。
- ・ 発掘調査後の整備が遅れがちであるので早めに対応し、活用をしていただきたい。
- ・ 城跡の整備は今後においても保存事業と観光面を組み合わせた整備を行ってほしい。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	
平成22年度に改訂した保存計画書に基づき、市民や観光客が安全に気軽に散策でき、歴史に触れることが出来るように、相良700年の歴史と文化に息づく町づくりを行っていく必要がある。						

点検評価シート （評価対象：平成22年度事業）

1 事業名	人吉城歴史館特別展(管理運営事業)														
2 担当部課名	教育部歴史遺産課					担当者名		—							
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称							
		1	ふるさとへの誇りと愛情に支えられたまちづくり				3	ふるさと文化の継承と創造							
4 誰のために行うか〔受益者〕	市民、来訪者														
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	特別展の充実や講座の開催等により、人吉城歴史館を歴史文化の発信源とし、加えて人吉球磨の歴史文化を学び知るための拠点とする。														
6 事業の実施内容 (平成22年度の進捗含む)	平成17年度の開館以来、人吉城はもとより人吉・球磨の歴史文化を発信する様々な取り組みを行なっている。常設展示については、随時解説を加えたり、市内小中学生の総合学習等にも活用いただき、地域の歴史文化のより良い理解を促している。また研修室でも講演や研修会などを開催し、歴史文化の発信に努めている。特別展示室においては、春と秋の2回の特別展を実施し、職員の研鑽を深めながらリピーターの確保と集客に努めている。平成22年度の入館者数は12,489人で、春季は「人吉が生んだ植物学者 前原勘次郎の世界」、秋季は「日野熊蔵と世界航空史」の特別展を実施した。また、人吉城歴史館カレッジでは、現在保存修理工事を行なっている岩屋熊野座神社についての講座と現地見学会を実施した。														
7 平成22年度に実施した方向性からの改善	特別展の展示方法を創意工夫する等、来館者の興味を引く展示を心がけたが、周知不足もあり平成21年度に比べ来館者が減少した。														
8 類似・重複事業の有無	有 ☒ 無 ☐ 類似・重複と思われる事業名														
9 外部団体の活用	活用している ☒ 活用できない・活用できる(検討中も含める)						団体名		文化財保護委員会						
	活用できない理由 (担当課確認リストを含む)														
10 活動指標	指標名		単位		説明		目標値の設定内容								
	年間入場者数		人		過去4年間の実績平均値を100%として		年間入館者数		16,947人						
11 成果指標	年間入館料総額		千円		過去4年間の実績平均値を100%として		年間入館料総額 円		2,698,962						
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H21年度(実績)		H22年度(実績)		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度		
		実績値	16,656		16,947		16,947		16,947		16,947		16,947		
		<達成度>	17,821		12,489		—		—		—		—		
		<達成度>	<106.99%>		<73.69%>		—		—		—		—		
		(2) 成果指標	目標値	2,604,667		2,698,962		2,698,962		2,698,962		2,698,962		2,698,962	
			実績値	2,981,850		2,143,350		—		—		—		—	
<達成度>	<114.48%>		<79.41%>		—		—		—		—				
13 事業 年次計画	事業の期間		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費		
	S22 ~		特別展		925		特別展		637		特別展		939		
	総事業費		啓発		808		啓発		257		啓発		249		
	千円		啓発		249		啓発		249		啓発		249		
	合計		1,733千円		894千円		1,188千円		1,188千円		1,188千円		1,188千円		
	財源内訳	① 国庫補助金													
		② 県補助金													
		③ 起債													
		④ その他													
		⑤ 一般財源		1,733		894		1,188		1,188		1,188		1,188	
14 活動一単位当たりのコスト	0.1千円		0.1千円												

15 平成23年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	展示内容の創意工夫や周知方法の工夫などを行い、歴史館の集客向上を目指す。		
16 平成24年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	引き続き事業を進め、新たな切り口を見つけていく。
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
・ 特別展としては企画も素晴らしいと思います。集客、PR面では各イベント毎や学校毎に招待する等工夫してもらうと、家庭でも食事の時等で話が出るかもしれません。 ・ 特別展の内容に期待しています。 ・ 地下室遺構がどのように利用されていたか考えられる限りをCGなどで表現されると面白いと思います。 ・ 夏休み中子ども、小・中・高生向けの企画等はどうでしょうか？そうすれば子ども会や親が連れて行くのではないのでしょうか。児童生徒の研究発表のテーマ。主題として取組まれるような内容にすれば学校で周知させることが出来るのではないのでしょうか。子どもたちが興味を持ち足を運ぶことが出来るような啓発をしていただきたい。 ・ 今後においても人吉市に存在する未公開のものがあれば常設展と組み合わせながら公開していただきたい。 ・ 昭和17年以降の人吉市史の作成に取り掛かっていただきたい。 ・ 特別展と結びつく様な歴史館カレッジを行っていただきたい。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	3	A	

人吉城歴史館は人吉球磨の歴史と文化を知るうえで重要な役割を担っている施設である。更に、人吉球磨が生んだ郷土の偉人・文人を広く紹介することが出来る施設でもある。今後はテーマ設定を工夫し、市民等への周知を徹底し来場者の増加を目指す必要がある。

点検評価シート (評価対象:平成22年度事業)

1 事業名	犬童球溪顕彰音楽祭													
2 担当部課名	教育部市民文化課					担当者名		—						
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称						
		1	ふるさとへの誇りと愛情に支えられたまちづくり				2	先人の物語を21世紀に語り継ぐために						
4 誰のために行うか〔受益者〕	市民、及び音楽祭出場者、並びに観客													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	音楽祭を通じて、人吉が生んだ音楽家・犬童球溪先生を顕彰し、かつ、人吉市を「音楽の街」としてPRを図るとともに、この音楽祭に参加する大人や子供の演奏のレベルアップに取り組み、街中に音楽が響き渡る街づくりを目指し、人吉市の知名度を高める。													
6 事業の実施内容 (平成22年度の進捗含む)	1. 個人コンクール:小中高校生による独奏・独唱のコンクール。8月の予選には152人の申込があり、52人が本選に望んだ。 2. 学校発表会:人吉球磨郡内の小中高校生による発表会。48校、約1,667人が一堂に会し、日頃の練習成果を披露。 3. 音楽のタベ:市内音楽団体発表と個人コンクール受賞者の招聘演奏を行った。また、ALT及び一般参加者による「旅愁」の原曲を英語で披露。また、熊本ミュージックアーティストによる音楽とバレエのコンサートは非常に好評であった。													
7 平成22年度に実施した方向性からの改善	音楽のタベに関しては、人吉球磨一円、広報車による宣伝活動を実施し、周知を図ったことにより、前年度より観客が増加した。学校発表の部では、犬童先生の顕彰のためのリーフレットを作成し、参加する生徒達に事前に配布したことにより、音楽祭への意識が高まった。													
8 類似・重複事業の有無	有	無	類似・重複と思われる事業名											
9 外部団体の活用	活用している					活用できない・活用できる(検討中も含める)		団体名	人吉球磨音楽教育研究会・市内音楽団体					
	活用できない理由 (担当課確認リストを含む)													
10 活動指標	指標名		単位		説明		目標値の設定内容							
	出場者及び観客数		人		音楽祭参加者と観客数		過去3年間の最大実績数							
11 成果指標	出場者及び観客数		人		音楽祭参加者と観客数		過去3年間の最大実績数							
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H21年度(実績)		H22年度(実績)		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度	
		実績値	3,450		3,450		3,450		3,450		3,450		3,450	
		<達成度>	2,618		2,873		—		—		—		—	
	(2) 成果指標	目標値	<75.88%>		<83.28%>		—		—		—		—	
		実績値	3,450		3,450		3,450		3,450		3,450		3,450	
		<達成度>	2,618		2,873		—		—		—		—	
13 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	～		音楽祭	3,916	音楽祭	4,224	音楽祭	5,960	音楽祭	5,000	音楽祭	5,000	音楽祭	5,000
	総事業費													
	千円													
	合計		3,916千円		4,224千円		5,960千円		5,000千円		5,000千円		5,000千円	
	財源内訳	① 国庫補助金												
		② 県補助金												
③ 起債														
④ その他														
⑤ 一般財源		3,916		4,224		5,960		5,000		5,000		5,000		
14 活動一単位当たりのコスト	1.5千円		1.5千円											

平成23年度以降の改 15 善等を踏まえた事業の 内容	平成23年度は第65回の顕彰音楽祭となる。65年の長きに渡り、引き継がれてきたこの音楽祭。個人コンクール、碑前祭、学校発表会は従来どおりとなるが、「音楽の夕べ」については、市内合唱4団体が一致団結し、新たな「音楽の夕べ」を作り上げる必要性が生じてきている。		
16 平成24年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☒	この音楽祭を通じて、犬童球溪先生の偉業を発信するとともに、人吉市が音楽を通しての街づくりを目指すことも可能と考える。今後は、人吉市の秋の風物詩として、後世に語り継がれる事業であることから、音楽祭のPR活動を行い、今以上に拡大した事業としたい。
	②現状維持	☐	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見	
・素晴らしい事業です。事業実施内容が3つに分かれているので指標値も3つに分けていただくとっと理解しやすいと思います。 ・犬童球溪音楽祭は個人コンクール、学校発表会、音楽の夕べと三部門に分かれての開催となっていることに特徴があると思います。特に学校発表会は学習成果発表の場となり、子どもたちへの音楽への定着図られる機会になっていると思います。併せて長年のこの音楽祭開催の原動力ともなっていると思われます。これからは音楽の夕べに、よりたくさんの一般市民の参加の合唱団等の発表の場へと展開されていくことを望みます。 ・この音楽祭は取りやめることが出来ない伝統ある音楽祭であるので、今後も工夫をしながら継続して行ってほしい。 ・個人コンクールは観客が極端に少なく寂しいようであるがどうにもならないものでしょうか？（関係者のみが参加しているように感じる） ・音楽の夕べは工夫されているようでたいへん良い事であるが、もう少し一般市民の入場者増に結びつけるようなことは出来ないものでしょうか？	

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	3	A	
人吉が生んだ偉大な先生を顕彰する音楽祭で、是非継続していきたい。今後は市内外へのPRを工夫し、市民の参加を促し盛り上げていく必要がある。						

点検評価シート （評価対象：平成22年度事業）

1 事業名	人吉球磨児童による童話発表大会														
2 担当部課名	教育部市民文化課						担当者名		—						
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称						
		4	ふるさとを支える豊かな人づくりをめざして					11	豊かで、活力ある地域社会を支える生涯学習の推進						
4 誰のために行うか〔受益者〕	人吉球磨地域の児童														
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	子どもの読書活動推進の一環として、子ども達が読書を通じて、豊かな知識・情操を育む機会とし、学校教育及び生涯学習の推進に寄与する。														
6 事業の実施内容（平成22年度の進捗含む）	人吉球磨地域の小学校の児童を対象に、童話発表大会を開催した。各小学校には、発表児童の選抜を依頼し、平成22年7月25日、郡市内全31校の代表者により「人吉球磨児童による発表大会」を開催した。また、最優秀賞を受賞した2名は平成22年10月23日開催の熊本県童話発表大会にも人吉球磨地区の代表として出場した。														
7 平成22年度に実施した方向性からの改善	児童の発表時間の充実や、経費の節減等を図るため式典の装飾・進行等については、簡素化する方向性で企画を行った。														
8 類似・重複事業の有無	有 ☒ 無 ☐		類似・重複と思われる事業名												
9 外部団体の活用	活用している ☒ 活用できない ☐ 活用できる（検討中も含める）														
	活用できない理由（担当課確認リストを含む） この事業の運営には出場者が広域な範囲におよび、人員確保やイベントノウハウ等も必要となる。それらを蓄積し実施する受け皿となる団体が存在しないため。														
10 活動指標	指標名		単位		説明		目標値の設定内容								
	参加校数		校		発表者の所属する学校数		全校参加を目標にしている								
11 成果指標	参加校数		校		発表者の所属する学校数		全校参加を目標にしている								
12 指標値	(1) 活動指標	目標値	H21年度(実績)		H22年度(実績)		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度		
		実績値	34		31		29		29		29		29		
		<達成度>	33		31		—		—		—		—		
	(2) 成果指標	目標値	<97.06%>		<100.00%>		—		—		—		—		
		実績値	34		31		—		—		—		—		
		<達成度>	33		31		—		—		—		—		
13 事業年次計画	事業の期間		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費		
	～		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費		
	総事業費		183		185		203		203		203		203		
	千円														
	合 計		183千円		185千円		203千円		203千円		203千円		203千円		
	財源内訳	① 国庫補助金													
		② 県補助金													
		③ 起 債													
		④ その他													
		⑤ 一般財源		183		185		203		203		203		203	
14 活動一単位当たりのコスト	5.5千円		6.0千円												

15 平成23年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	平成22年度で26回目の開催を行っている童話発表大会であるが、平成19年度より実施している人吉市子ども読書活動推進計画でも、読書推進活動への有効性のある活動の一つとして推進計画でも取り上げている。今後も童話発表大会については、伝統的な読書推進活動として、内容をさらに効果的なものとするため、効率・予算執行などにも工夫を加え実施していく。		
16 平成24年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	子ども読書活動推進計画は、24年度からの第2次計画に向けた実施の検討を行うが、より効果的な読書活動の推進を目指した活動の一つとして、童話発表大会についても継続的に取り組む予定である
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
・読書の習慣化の一つとして続けていただきたい事業です。職員の皆さんや先生方には大変ご苦勞をかけますが、よろしくお願いします。 ・予算は、子どもたちが自信と誇りを持って発表できる場であってほしいので、あまり削減や残すことなく使っていただけたらと思います。 ・活字離れが心配されている昨今、この童話発表会は読書推進には大切な活動の一つと思います。地道な活動ですが読書は生きていく力と豊かな心を育む機会となります。学校現場の先生方のご協力をいただき、家庭教育学級等に読書についてもテーマに取り入れて推進していただきたいと願います。 ・会場費はこのような事業の場合は低額に抑えることも事業を推進しやすくするのではないのでしょうか。 ・小学生のうちから読書に対して興味を持たせ多くの本を読ませる事は大変重要なことだと思います。(活字離れといわれている現在)この童話発表会も伝統あるものになるように継続して行ってほしいと思います。 ・図書館の新しい本の購入も大事な事ではありますが、小中学校の図書館の購入予算についても配慮して行ってほしい。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	3	A	
子どもの読書活動の啓発、推進にたいへん効果がある事業だと考える。発表する力、聞く態度、鑑賞する態度も身につけ、今後も継続していくことが必要である。						

《人吉市教育基本方針》

本市は、市民一人一人が、未来に向かって生き生きとした教育を、くくみ、郷土への誇りや愛着をもて「物語都市ひとよし」の創造を目指している。そのため、本市教育は、社会の進展に対応する教育を構築しながら、主体的・創造的に生きていくために、恵まれた自然や文化・歴史のもとで、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成を目指す。さらに、市民が生きがいのある生活を送るために、人権尊重を基盤にすえて、生涯にわたって健康な生活を送ることができ、生涯学習社会の実現を目指す。

《人吉市教育目標》

- 学校、家庭、地域、協力を強化し、あらゆる教育活動を通して、児童・生徒に確かな学力を身に付けさせるとともに、子どもたちの豊かな心を育て、人生や社会を乗りきっていく「生きる力」を育成する。
- 芸術、文化、スポーツ等多様な教育施設の充実を図り、地域やふるさとを支える人づくりに努める。
- 関係機関・団体相互の連携を図り、差別の根絶を目指す教育・啓蒙を推進する。

学校教育努力目標

- 【教育総務課】
- 1 学校施設の耐震化推進
 - 安全・安心な教育環境の整備
 - 災害時避難場所としての安全確保
 - 2 学校設備の充実
 - 教育環境改善に向けてエアコンの整備
 - 児童生徒の安全対策
 - 地域ぐるみで子どもの安全確保
 - 3 児童生徒の安全対策
 - 児童生徒の安全対策
 - 児童生徒の安全対策
 - 4 学校施設の開放
 - 社会教育・社会体育の振興のために学校施設の開放推進
 - 5 学校事務の共同実施
 - 学校事務の共同実施による事務効率化の推進
 - 6 学校予算執行の効率化
 - コスト削減の徹底と効果的な予算執行の推進
 - 7 利用しやすい奨学金制度の提供
 - 経済的理由による就学困難者に対して利用しやすい奨学金の提供
- 【学校教育課】
- 1 「確かな学力」の育成
 - 基礎・基本の重視と活用能力向上のための授業づくり
 - 教科活動の重視及びICTを活用した学習意欲の向上
 - 指導と評価の一体化と学習意欲の向上
 - 2 豊かな心の育成
 - 人権教育の推進と道徳教育の充実
 - 生徒指導の充実
 - 感動する心と豊かな感性の涵養
 - 3 たくましい身体力の育成
 - 体力向上の推進
 - 健康・安全教育の充実
 - 4 特別支援教育の充実
 - 支援体制の整備と充実
 - 指導方法の工夫・改善とその共有化
 - 郷土愛に満ちた子どもに生きる意欲の育成
 - 5 郷土教育の推進
 - 「笑顔であいさつ」運動の推進
 - 効果的な教育活動の推進と学校図書館の計画的な活用
 - 6 効果的な教育活動の推進
 - 「子ども読書活動推進計画」の実施
 - 学校・家庭・地域社会の連携とその推進
 - 7 学校・家庭・地域社会の連携とその推進
 - 幼・保、小、中、のなめらかな接続
 - 地域ボランティアの学校支援の推進
 - 8 特色ある学校教育の展開と学校評価の充実
 - 食育の推進
 - 学校教育活動全体を通じた「食育」の一層の推進（給食センター、栄養教諭等との連携）
 - 家庭や地域と連携した実践力の育成
 - 9 環境教育の推進
 - 環境教育の推進
 - 学校環境美化の推進
 - 学校近隣環境ISOの一層の推進

社会教育努力目標

- 【社会教育課】
- ☆生涯学習係
- 1 校区公民館活動の支援と連携
 - 公民館（コミュニティセンター）事業の充実
 - 公民館活動能力向上のための研修機会の充実
 - 2 学習機会と情報の提供
 - 成人、子どもを対象とした講座や教室等の充実
 - 学習成果の活用と場の提供
 - 公民館や学校・社会教育関連施設・機関・団体との連携
 - かがやき（生涯学習人材バンク）の再構築と活用推進
 - 広域や市のホームページ等を活用した情報提供の推進
 - 3 家庭の教育力の向上
 - 家庭環境に関する情報提供及び学習や相談の機会の提供と充実
 - 地域における家庭教育に対する支援体制づくりの推進
 - 家庭・学校・地域社会の連携と教育力の向上
 - 校区公民館を核とした地域ぐるみの子どもの健全育成
 - 学校支援地域本部事業等、地域で学校運営を支援する体制の整備とその普及
 - 4 社会教育施設の整備・充実
 - 公民館（コミュニティセンター）施設の整備・充実
 - その他の社会教育施設の整備充実と利用促進
 - 各団体の連携強化と自主運営の推進
 - 社会人教育の推進
 - 家庭や地域における人権教育の推進
 - 研修会や啓発活動の充実
- ☆スポーツ振興係
- 1 市民の健康増進を図るための各種スポーツ教室等の開催
 - 体力づくり事業の実施及び市民体育祭の充実
 - 生涯スポーツ活動の普及・振興
 - だれもが取り組めるスポーツ・レクリエーションの普及・振興
 - 市民のスポーツニーズに対応するための指導体制の充実
 - 総合型地域スポーツクラブの推進
 - アドベンチャー・スクール事業の充実
 - 2 スポーツ団体の育成
 - スポーツ団体の組織強化と指導者の育成
 - NPO人吉市体育協会による研修会、講習会や各種スポーツ教室開催の支援
 - 競技人口の増加と競技力の向上
 - スポーツ少年団の育成と活動の活性化
 - スポーツを通じて交流の推進
 - 行政・市民・地域が一体となったスポーツイベントの開催や誘致
 - 3 スポーツ施設の整備充実と利用の推進
 - 指定管理者との協働による効率的、効果的な管理運営
 - 中・長期計画による老朽化施設の整備・改修
 - 多目的運動広場（仮称）の整備に向けた取り組みの推進
- 【文化振興課】
- 1 「ふるさと文化」の継承
 - 文化財の調査・保護・活用
 - 史跡・人吉城跡の保存整備と活用
 - 中世・人吉城跡の発掘調査
 - 人吉城跡史跡の充実と活用
 - 歴史「青井阿蘇神社」・国指定「岩屋館野原神社」の保存修理事業支援
 - 人吉市ゆかりの文人・偉人の顕彰
 - 「ふるさと文化」の創造
 - 大連球道影響を継承する継承と充実
 - 人吉城跡総合公園の継承と充実
 - 文化振興事業の啓発
 - 人吉文化協会の自立支援
 - 文化団体の育成
 - 2 カルチャーマネジメント
 - 快適で安全な利用のための施設環境の維持保全
 - 来館者へのきめ細やかなサービスの提供
 - 自主文化事業を通じた文化芸術の振興と地域文化の醸成
 - 図書館事業の充実
 - 子ども読書活動の推進
 - 来館者ニーズに対するサービス向上
 - 郷土に関する資料収集
 - 移動図書館車による図書利用の拡大
 - インターネットによる蔵書検索システムの利用拡大
 - 国民読書年における読書推進活動

《目標の明確化及び施策の推進》

○ 教育委員会の事務に関する点検・評価

○ 教育振興基本計画の策定・検討